



令和元年度 小学生中国派遣研修レポート

所属校

【 下関市第一の宮小学校 】

氏名

【 守田 美琴 】

青島について

中国東部の山東省に青島があります。青島の人口約950万人、総面積は、1182km²です。下関の人口が約25万人、総面積が716km²なので下関よりも大都市であることがわかります。青島に行って始めに思ったことは、高層ビルが立ち並んでいて、とても都会だなと思いました。

青島は1897年ドイツの植民地となったため、赤い瓦の家と緑の木々があり、西洋の町並みのような所もありました。



青島はビルが有名で世界70カ国以上に出荷されており、世界的ブランドでとても人気があるそうです。ドイツはビルが有名なのでドイツの影響を受けているのだなと思いました。また、青島は海に面しているため、海鮮がよく食べられるそうです。下関と似ているなと思いました。下関はフクが有名ですが青島はあさり有名だそうです。青島にも日本と同じように四季があることを知りました。日本の仙台とほぼ同緯度に位置するため、下関よりも、寒いことがわかりました。春は日本の植民地時代に植えられた桜が咲き、秋は美しい紅葉を楽しむことができるそうです。

日本国総領事館

入るために荷物チェックやけいたいを預けないといけません。念のため安全を確任するためだそうです。仕事内容は、日本人へのパスポートの発行、中国人へのビザの発行、青島に住んでいる日本人の安全確保や事件や事故に合った場合にサポートをしたり安全に関する情報を提供するそうです。他にも、日本の文化の紹介、日本企業のサポート、中国人との意見交換、日本人むけの出生届け、だそうです。青島に住んでいる日本人は、サポートをしてくれるので安心してくらせると知りました。

青島日本人学校

創立16年でとてもきれいな校舎でした。6年生が体育館で太鼓を演奏してくれました。みんなの息があっていて、音が重くてすごかったです。今年の4月に転入してきた子も沢山いて、転入や転校は、結構あるそうです。学校案内でプールや武道館などが回りました。プールは室内にあり天候に左右されないのが中止になることがないそうです。授業では、週1で中国の勉強をするそうです。6年生と交流した時に青島に来てビックリした事を話し合い「クラクションが沢山なる」「いかいと都会」など共感することがあり、会話がはずみとても楽しかったです。

現地小学校

・文登路小学校

各学年の出し物がありました。1番目は、曲に合わせながらお茶を入れてくれました。甘いお茶でした。ふだん、あまり飲まないの甘いお茶にビックリしました。次に低学年の子がドラえもんを歌ってくれました。中国でもドラえもんは人気だそうです。最後に、日本語で歌ってくれました。とても一生懸命うたってくれました。ほかに、ダンスや歌も見習いに行くそうです。青島は2008年の北京オリンピックの時には、ヨットの会場となったそうです。

・第二実馬小学校

校舎はとても大きくて、生徒3000人教師200人もいるそうです。クラブ活動を見学しました。印象に残っているのは、民族舞踊とダンスです。民族舞踊はアクロバットなどがあって、そく宙などかるがるとしていて、女の子はとてもやわらかくビックリしました。その後一緒にパトリカのダンスを踊りました。ダンスはみんな楽しそうにおどっていてテンポが速くてビックリしました。ほかにクラブは、習字、琴、吹奏楽、合唱、演技、サッカー、バスケット、たっきゅうバレー、バドミントンがありました。

まとめ

私は、この中国派遣研修に参加する前は、田舎で空気が汚染していると思っていただけで実際は、産業の発展がすごく高いビルが町中に沢山あり、空気がきれいでした。そして、中国人はこわいイメージがあったけど、みんなやさしくて、小学校を訪問した時に、となりの女の子が自分が着ていた上着をたたんでくれてやさしかったです。今回、中国の文化や歴史なども知り、食事のこと、産業の発展のことをたくさん学びました。2030年には、中国全土に新幹線が走る予定だそうです。今回の研修で、学んだことや中国の様子をみんなに伝えていきたいと思っています。



令和元年度 小学生中国派遣研修レポート

所属校【下関市立吉田小学校】
氏名【山田 真生香】

1. 目標

- ・中国のいいところを見つける。日本のいいところを聞く。
- ・言葉の壁を超え、笑顔で交流を図る。

2. 中国訪問

・出発前、初めての海外で出国の仕方や買い物の仕方、コミュニケーションの取り方などたくさん不安がありました。なんとかかなると思いい、スーツケースに荷物を詰めました。

1日目(空港・入国)日本とはちがうトイレや街の匂いに驚きました。高い建物も多く、どこを見てもビルやマンションという感じでした。(ホテル)ホテルはとても広く大きなリネンエリアなどがあり綺麗ななと思いました。また、ロビーには日本時間の時計も置いてあり、時差があることが実感できました。両替では落書きされているお札もあり、使えるのか少し不安になりました。

2日目(鶴極地海洋世界)水族館ではあんな見ないツルクマがいて驚きました。さらに、日本では見ないオオカミやオカミの赤ちゃんがいて感動しました。イルカショーでは、本しぶきジャンプの迫力がすごかったです。(青島婦人児童活動センター)民族の衣装を着て、伝統の踊りを見せてもらい、動きが揃っていて歌声も美しかったです。ステップを教えてもらい、楽しく踊ることができました。プレゼントもたくさんもらいました。あけたいよりも喜んでもらえて嬉しかったです。(買い物体験)中国のお菓子がたくさんありどれを買ったらいいか迷いました。ジュースや、チョコレート、金平糖などを買ったことがとても楽しく驚きました。



・3日目(在青島日本国総領事館)入り口の警備が厳重で、とても驚きました。どんな仕事をしているか、どんなことが一番大変かなどの質問に答えていただけで、知ってる情報以外のことをたくさん知ることができ勉強になりました。(青島市教育局)驚いたのは学校がたくさんあることです。幼稚園が一番多く241か所あることを知り、驚きました。学生もとても大人数いると聞き、だから小学校が多いのかと思いました。(文登路小学校)たくさんのおし物を見せてもらい、ドレエモンの歌を日本語で歌ってくれて嬉しかったです。お茶もとてもおいしかったです。良かった女の子に万年筆をもらい大切にしようと思いました。ユップも作らせてもらいました。分からなくて、とまどっていると、ていねいに教えてくれて、嬉しかったです。

・4日目(青島日本学校)青島に来ておどろいたことについて話し合いました。話し合っている間は同じ意見も異なる意見も出ましたが、まとめることが出来ました。ムでは、クイズや好きな食べ物を言いつき楽しかったです。(青島軌道交通産業モデルエリア科学技術館)リアモーターカーや新幹線の作りかなどが分かりました。VR体験では風やゆれなどの迫力がすごかったです。(オプクーツーヌ視察)ソースができたキッカケや材料、マークの意味などが分かりました。実際食べたいお好み焼きも、ホクホクしていて、とてもおいしかったです。(城陽区第二実験小学校)中日友好、という字をかかせてもらいました。緊張しましたが、音重と一緒に踊ってくれてすごく嬉しかったです。また、プレゼント交換では、切り絵の本を2冊もらいました。きれいな本をもらえて嬉しかったです。

・5日目(解組式)日本に帰国して、解組式は自分が挨拶を担当するので緊張しましたが、挨拶が終わると拍手をくれたり、安心しました。久しぶりに家族に会えて、とても嬉しかったです。



3. まとめ・日本に帰国して、家族や友達に「中国、良かった?」と聞かれました。私はみんなに話をするとき、中国のいいところや、中国の方に聞いた日本のいいところを話します。中国のいいところは、優しい、親切、食べ物おいしいなどです。中国の方に聞いた日本のいいところは、ドアを優しく開ける、きれいな迷惑をかけないなどです。今回の中国派遣研修で一番感じたことは、言葉の壁をこえて仲良くなるということです。今回の研修で学んだ、何事にも笑顔で取り組む気持ち忘れずに、いろいろなことに挑戦してみたいと思います。

令和元年豊浦小学校 吉岡 菜津音 中国派遣研修レポート

1. 中国に行きたいと思った理由

私が中国に行きたいと思った理由は、2つあります。

1つ目は、中国の文化を学ばれたからです。中国の文化は、日本の文化とちがいます。中国の文化は、民話などの昔話などが多いです。また、お茶なども文化になっています。日本は和菓子などが文化になっています。中国の文化を知って、たくさんの人に中国のことを伝えたかったので行きたいと思いました。

2つ目は、中国の本場のぎょうざを食べたからです。私は、ぎょうざが大好きです。だから本格的なぎょうざを食べたかったので行きたいと思いました。

私は中国に行けてうれしかったです。中国に行けなかった人や家族などにこのレポートを見てもらい中国のことについて知ってもらいたいです。

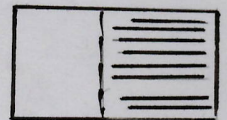
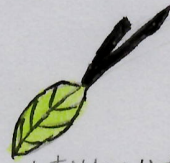
～青島極地海洋世界視察～ (水族館)

中国の水族館はほとんど日本(下関)と同じでした。かめ、くじら、白くま、ペンギン、イルカ、いろいろな魚、金魚などたくさんの魚たちがいました。とてもかわいかったです。水族館の中には、お土産を買う場所もありました。とてもかわいいキャラクターなどもたくさんありました。とても楽しかったです。



～青島市婦人児童センター～

青島の子どもたちと楽しみました。初めて、パフリカと下関のクイズをしましたがあわてていて、とても上手にはできませんでした。青島の子どもたちは、とてもやさしく、とてもかわいかったです。青島の子どもたちからプレゼントをもらいました。とても大切に使いたいです。



しおりとかがきをもらいました。

～買い物体験～ (イオン)

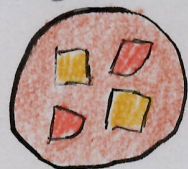


お菓子などを買いました。たくさんの方がいて、とても混雑していました。日本より安かったのでうれしかったです。たくさんの商品があって好きな物がたくさんありました。最後に「アイス」を食べました。アイスは、9円で日本円に直すと、135円だったのでとてもやすかったです。しかも、とてもおいしかったので「Happy」でした。

ハッピー

～中華料理～

中華料理にはマボードウフやぎょうざやチャーハンなどがあります。私は、ぎょうざが好きです。だから、中国の本場のぎょうざが食べられてうれしかったです。丸いテーブルから、小皿に取るという中国料理の伝統的な食べ方を体験しました。



～ 棧橋視察、夕食会 ～

青島の有名な橋を見ました。海水パンツ
すがたで海を泳いでいる人やフリを乗ば
人のすがたをタク見かけました。とても夕日
がきれいでした。そして夕食会
では、私がたくさん練習して覚えた
スピーチを発表し、発音が良いと
ほめられたのでとてもうれしかったです。



～ 青島日本人学校 ～

青島日本人学校は青島の
日本人が勉強している学校
です。校内を見学させてもら
いましたが、一番びっくりし
たのが日本人学校のプ
ールでした。とても広くて、屋
内なので虫なども入らず、安心してプール
に入ることができるそうです。
ここでは日本人学校のみなさんが
日本人なので日本語が通じて、と
てもほっとしました。



～ オタフクソース視察 ～

オタフクソース見学に行きました。
オタフクソースの事がたくさん知れま
した。一番びっくり
したのは、お好み
焼きソースが1年、
また、1年立つうちにどどん
と改良しているということ
でした。最後には、おいし
いお好み焼きも食べられたので良か
たです。



～ 城陽区第二実験小学校 ～

この第二実験小学校が交流で
最後の小学校でした。パフリカの
ダンスは今までで、一番心に残りま
した。そして、下関のクイズはとて
楽しんでくれたのでうれしかったです。
最後に、とても良い、しおりをくれ
ました。とても、とてもうれしかった
です。



～ まとめ ～

中国に行ってとても良かったと思います。一つ目は中国の文化を学べたことです。
二つ目は、本場のきょうざを食べられたことです。三つ目は、たくさんの
の方々との交流できたことです。四つ目は、お金のことについて学べたこ
とです。五つ目は物の大切さを学んだことです。それ以外にもた
くさん学んだことがあります。

この私が学んだことを中国に
行きたくても行けなかった人
などに教えてあげたいで
す。そして中国のことをわ
かってほしいです。

～ 知識 ～ 中国のお金

中国のお金には、100元、50元、20元、10元、5
元、1元、5角、1角などがあります。
1元は、日本円だと約15円～16円
です。1角は10分の1元です。



令和元年度 小学生中国派遣研修レポート

所属校【名池小学校】
氏名【吉谷拓真】

1. なぜ中国に行こうと思ったのか

ぼくは今、中国の始皇帝辺りのことをかいてマシカにはまっていて、そのマシカの場所である中国に行ってみたかたからです。

2. 中国で行った場所

○婦人児童活動センター

婦人児童活動センターは日本で言う公民館のような場所です。婦人児童活動センターの交流では小学6年生ぐらいの人から小学2~3年生ぐらいの人が踊りを踊ってくれました。モンゴル民族の踊りはすごく明るくてやってみても楽しかったです。笑顔でえいけするよ木目も笑顔で返してくれてとてもがさしかたです。

青島でおどろいたことBEST

- 1位 高いビルがたくさんあったこと。民家よりはたくさんビルがあておどろきました。
- 2位 木の下を白くぬっていたこと。虫よけで木の下をぬるのはおどろきました。
- 3位 お金がとても安いこと。バスが約15円などとても安くておどろきました。



○在青島日本国総領事館

在青島日本国総領事館とは青島に主人でいる日本人を手助けする場所です。総領事館とは首都以外の大きな都市にあるそうです。総領事館で働かっている中国人の方が日本語であいさつしてくれてうれしかったです。総領事館の人はたくさん国に行こうとしてアフリカに行ったと言っている人もいて大変だと思いました。

○青島市孝女局

青島市孝女局は名前の通り青島の学校など、孝女育面をサポートする場所です。青島市孝女局では、青島市にある幼稚園から高校までたくさんの学校をサポートしなければいけないらしいので大変だと思いました。



○文登路各小学校

文登路各小学校の人たちはみんなフレンドリーで、英言語を使わずに言葉をかけてくれたけど、それを返すことができなかったから申し分なかつたです。出し物はみんなレベルが高くとても練習したんだと思いました。土器をやるような授業では底に穴が空いたりして大変でした。






○青島市日本人学校

日本人学校には同じ六年生の日本人がいたのでとてもよくしゃべることができました。日本人学校には小学1年生から中学3年生までいました。みんな仲がよさそうです。日本人学校にはたくさんのせつひがそろっていてとてもうれしかったです。

○大島ソース工場

中国言語でのあいさつがわからずとてもきんぢょうしました。オタフクソースがどのよに作られたか知ることができてよかったです。オタフクソースにはたくさんのものが入っていておどろきました。お女子みんもおいしかったです。

青島で有名な食べ物 BEST 3

- 1位 青島ビール  できれば「飲」みたかったです。
- 2位 アサリ  少しピリッとしていて何個でも食べれそう。
- 3位 キョーザ  本当は水キョーザの方が有名だけど「キョーザ」がハカハリしていておもしろかったです。



○城陽区第二実馬金小学校

第二実馬金小学校にはたくさんのクラブのようなのがある。どれもレベルが高くおどろきました。最後にみんなでパフォーカをすることができてとても感重れました。

3感想

五日間も家からはなれていたのに全然不安感がなくておどろきました。第二実馬金小学校でみんなでパフォーカをおどって言葉が通じなくても心が通じるということはどういうことなんだな。と思ってうれしくなりました。



令和元年度 小学生中国派遣研修レポート

所属校【豊浦小学校】

氏名【渡邊 春希】

】
】

はじめに

私がこの研修に参加したいと思った理由は、中国の悪いイメージをくつがえす。中国の文化を知り、自分に活かしたり、逆に日本の文化を伝えたりする。人の輪を広げる。というこの3つです。

そして私は、10月12日に青島に行き、様々なことを学びました。

青島について① ~空気~

10月12日、青島に着き、初めて中国の空気を吸いました。初めはすと マスク をつけていました。ですが、慣れてくると、マスクをつけなくても 通常どうりに過ごせるようになり、よかったです。



日本とちがいで、少レズンとした空気がした。
←



婦人児童活動センターで

中国の子供たちと、歌やおどりを通して、交流ができました。

中国の歌は、高音で、のびる音が多かったです。中国のおどりをみんなでおどって、中国の文化を自分で体験でき、よかったです。

また、私たちが"クイズ"をだすと、中国の子供たちが、笑顔で答えてくれました。すると、私たちまで明るくなれ、国をこえた友達ができました。

青島について② ~交通~ · ~道~

青島には、世界で、オランダと青島だけにしかない、無人バスがあります。そして、地下鉄は今、4本通っていて、交通手段は バス・地下鉄・車・タクシーだそうです。また、日本より クラクションがタタいたため、バスに乗っているときにビクッとしてしまいます。

青島の道路の名は、まちの名前からつけられており、北京路や香港路などがあります。また、全長が36.5kmの橋があり、晴れている日でも、先がみえないそうです。(今は、全長が世界2位です。)

文登路各小学校で

門で、たくさん生徒が私たちを出むかえてくれました。そして、2人の女の子が手をつないでくれ、うれしかったです。

この学校の生徒がくれたお茶は、甘くて、おいしかったです。次に、中国の歌や楽器をひろうしてくれました。とくに印象に残っているのは、ドラえもん

の歌を中国語と日本語で歌ってくれたことで、みんなで楽しみました。また、フロゼント交かんの前に、私の荷物を持ってくれました。そして、フロゼント交かんでは、手紙やペンをもらい仲良くなれたので、積極的な行動を心がけていこうと思います。

その後学校内を見てまわりました。かべには様々な系会があり、楽しそうな学校だという印象です。また、授業では、プログラミングや3Dプリントがあるそうなので、私の学校でもやってみたいと思いました。

最後に、学校の生徒と一緒に、とうげいをしました。私が困っていると、手伝ってくれたので、すごく温かくなれよかったです。

最後に

私は、中国に行かせてくれた家族にもとても感謝しています。私の背中を押してくれ、よりよい石開修になるよう支えてくれました。そのおかげで、様々なことを学び、持ち帰ることができました。

そして、一緒に石開修に行った仲間にも感謝しています。正直、初めは、仲良くなれるか、心配でもありました。しかし、一緒に5日間過ごすことにより、深い絆が結ばれたので、本当によかったです。ちがう環境で支え合うことにより、この石開修が成り立ったと思います。

ちがう文化、ちがう言葉ですが、そのかべをこえたら、だれとでも仲良くなれ、笑顔になれるということが分かりました。また、中国の悪いイメージはなくなり、良い国ということも分かりました。

これからも、この石開修での出来事を忘れず、様々なことに活かしていきたいと思います。



→ 棧橋を渡った後に撮った写真です。

丸いテーブルでの食事。ガラスの部分か回ります。→

